

2. 日経225オプションの買い戦略

単純だが難しい「買い」戦略



といっても
ここでオプション買い
戦略は実行すべき
ではないという
つもりはありません

オプション買いは
大きな利益を得られる
可能性によって
勝率が低いという欠点を
十分に補えるからです

私がオプション
買い戦略を
採用する理由は
主に次の4点
です

オプション買いの理由

- ① 単純な戦略である。
- ② 心理的に楽である(損失限定)。
- ③ 大きな利益が期待できる。
- ④ 少ない資金で実行できる。

それぞれについて
説明します

つまり、5,000円の投資で約500,000円の利益を出したわけだ(取引手数料は除く)。



この例のようなことが頻繁に起こるわけではありませんが、それでも起こる可能性はオプション買いの魅力あるものにしていきます

④オプション買いは少ない資金で実行できる

日経225オプションのプレミアムは1円から。つまり1,000円から投資できる。これもオプションの買い手にとっては魅力のひとつだろう。

オプション買いを成功させるための重要なポイント



ただしオプションの買い戦略で成功したいのなら「50000円の投資がレバレッジの魅力に目を向けるよりも

オプション買いは負ける確率が圧倒的に高い(買ったオプションが満期日に無価値で消滅する確率は80〜90%)という現実を目を向け

そこで利益を上げるにはどうすべきかという具体的な戦術を練るべきです

①オプション買いは単純な戦略

日経225が上昇と思ったらコールを買い、反対に日経225が下がるとしたらプットを買いえばよい。

ただしこの戦略で実際に利益を上げようとするとオプションの持つやや複雑な側面に目を向ける必要があります



オプションの売りやスプレッド取引のようにオプションの複雑な側面をあまり気にせずに見ます

②オプション買いは心理的に楽

最初の段階から最大損失額が計算できる。そのため、日経225の変動に動揺することなく、自分のポジションを最後まで(満期日)まで保持できる。

③オプション買いは大きな利益が期待できる

オプションの持つレバレッジ(てこの原理)を意味する。

例えば、日経225が現在12,500円で、13000コールが5円だったとする(1枚あたりの購入代金は5,000円)。このオプションの満期日までに日経225が13,500円まで上昇した場合、13000コールのプレミアムは少なくとも500円(1枚あたりの購入代金は500,000円)になっている。

オプション買いの仕掛け例

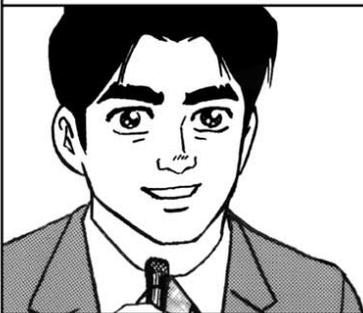


オプション買いの仕掛け例を紹介しましょう

このチャートは4段に分かれています

上から
日経225先物の
日足バーチャート
IV (予想変動率)
DMI (Directional
Movement Index
// 方向性指数)
そして最下段が
MACD
(Moving Average
Convergence
and Divergence
// 移動平均収束発散)
となっています

1) バーチャートで直近の高値と安値を確認する



この取引例では
IVは参考程度に
とどめます
先物取引の代わりに
相場の方向性に
賭けてオプションを
買う戦略を取
るからです

オプション買い戦略のポイント

- ① 売り手が不利な状況のときに仕掛ける。
オプション市場はゼロサム・ゲーム。買い手の利益は売り手の損失から、売り手の利益は買い手が支払ったプレミアムから得る。したがって、オプション買いはオプションの売り手が不利な状況のときに仕掛ける。つまり、IVが低いときにオプション買いを仕掛けるようにするわけだ。
- ② 資金の性質を限定する。
支払ったプレミアムが全額なくなってもかまわないという資金で仕掛けるべき。
- ③ ナンピンは避ける。
オプション買いは、ある意味で“当てもの” (相場の方向性を当てるゲーム) である。一度取ったポジションを売買技術で利益にもっていくことは、株式や先物の片張りよりも難しくなる。したがってナンピンは避けなくてはならない。ただし、一般的な「ナンピン否定論」とは次元がまったく違うことを理解してほしい。
- ④ 自分なりの売買ルールを決める。
トレンドに乗る「順張り」でも、トレンドの反転にかかる「逆張り」でも、何でもかまわない。「買い」を仕掛ける自分なりのルールを決め、それに従うことが大切。
- ⑤ 売買回数を制限する。
オプション買いは負ける確率が圧倒的に高い。そのため売買1回あたりの損失額が限られていても、売買回数が多くなれば結局破滅する。したがって「買い」の自動回数を制限することが肝要。
- ⑥ 超短期の売買は避ける。
デイトレードを含む超短期のオプション売買は、取引コストがかさみ、勝率も低いので推奨できない。

オプション買い戦略を
実行するうえで
重要なことをいくつか
挙げましょう



オプション買いの成功を阻む プレッシャーに勝つ方法



オプション買いの
優位性は
小資金で大きな
利益を期待できること
そしてあらかじめ
最大損失が計算できる
ことです

しかし同時に
オプションの買い手は
二つのプレッシャーを
受けることに
なります
それは…

オプション買いのプレッシャー

- ① 時間の制限
- ② 相場変動の規模



オプションの買い手が
利益を上げるには
相場が制限時間
(オプション残存期間)内に
一定の規模以上に
変動しなければ
なりません

つまり
オプションの買い戦略では
単に相場の方向性を
当てるだけで必ずしも
利益を得られるとは
限らないのです
例を見ましよう



そこで方向性を
見極めるための
指標として
DMIとMACDを
活用します

その前にまず
バーチャートで
直近の高値
(1万6300円)と
直近の安値
(1万5380円)
に着眼します
これをブレイク
するかどうかが
ポイントとなります

2) 市場の方向性を確認する



次に市場の
方向性を確認
します
これをDMIと
MACDで確認
するわけです

3) 仕掛ける



仕掛けの
タイミングは
これらのポイント
ブレイクした
ところです

・4月限のコール(権利行使価格は16,500円)
または
・4月限のプット(権利行使価格は15,000円)
を買う。

あるいは
方向性をとらず
「ブレイク・ポイント」
のいずれかを
抜けるであろう
ことに賭けて
あらかじめ
コールとプットを
買う戦略も
あります